

「ケイコとマナブ」が、20代から40代の専業主婦333人を対象にアンケート調査した
「主婦の仕事に関する意識調査」から見える“サロネーゼ”の背景

資料(1)

「サロネーゼ」の勢い

主婦の力の新しい発露としての「サロネーゼ」の勢いです。

すでに皆様ご存知のように、家庭の収入面での不安を背景に、自宅をサロンにして、楽しくおしゃれに収入をあげる「サロネーゼ」が、ある時期からブームとなっています。

無理なくゆうゆうと働ける理想の働き方が、現在の日本の状況に合致したこともブームに火をつけた理由の1つです。さらにここにきて、各家庭において主婦たちの働きやすい環境が整い始め、潜在していた力が目立って顕在化し、ますます勢いを増してきています。

新しい時代の、主婦ならではの新しい輝き、それが「サロネーゼ」なのです。

とは申せ、実際に「サロネーゼ」として収入をあげている主婦は、全体から見ればまだほんのわずか。

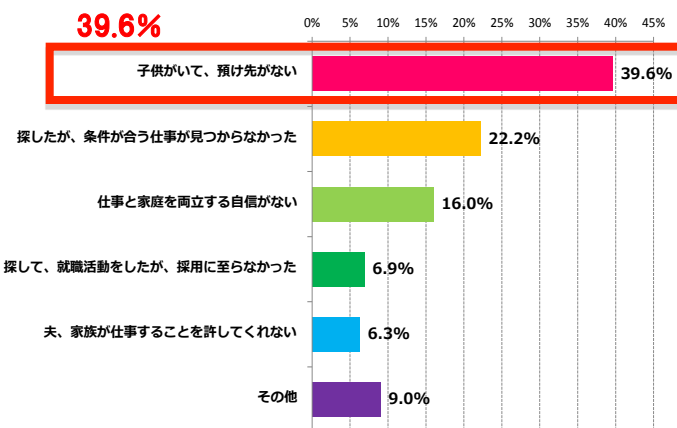
まだまだ巨大な伸びしろを残しています。

いままさに、主婦の力という無限の埋蔵量をもつ鉱脈が発見され、発掘作業が始まったということです。今後の成長に、ぜひご注目いただきたいと思います。

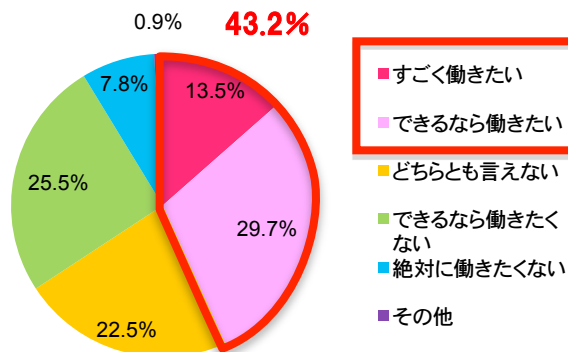
アンケートの結果概要

専業主婦333人のアンケート結果によると、**働きたいという気持ちを持っている人は全体の43.2%**。働きたいと思いながら働けない理由の第1位は「子供がいて、預け先がない」（39.4%）でした。**「平日の昼間に数時間だけ」「通勤時間30分以内」**が理想の仕事スタイルでした。

Q 働きたいと思いながら働いていない理由は？



Q 現在働きたいと思っていますか？



<調査方法>

◎調査時期：2014年7月11日～7月13日 ◎調査対象：全国の専業主婦

◎有効回答数：333人 ◎調査方法：インターネットによる調査

資料(2)

企業が注目し始めた

2つ目のニュースは、この主婦たちの力に「企業が注目し始めた」ことです。「サロネーゼ」たちを取りまとめているコミュニティのジェネリーノではすでに、三越伊勢丹、ミキハウス、森ビルをはじめ、大手自動車メーカー、大手化粧品メーカー、大手食品メーカー、子供服の商品開発など、女性をターゲットとした商品開発・イベントなどの協力依頼が数々舞いこんでいます。埋蔵量の大きな鉱脈に、企業という大きな掘削力が後押しを始めたということです。これから「サロネーゼ」の大きな渦が世の中を賑わすことと思います。

※ ケイコとマナブとは

なりたい自分になるための、習い事・資格スクールの情報誌。語学、ヨガ、ダンス、料理、ネイル、PC・・・etc.さまざまなジャンルのスクール情報が、1冊で気軽にチェックできます。さらにスクール選びのポイント、資格・検定カレンダー、習い事の期間&相場などの情報も充実。

※ ジェネリーノとは

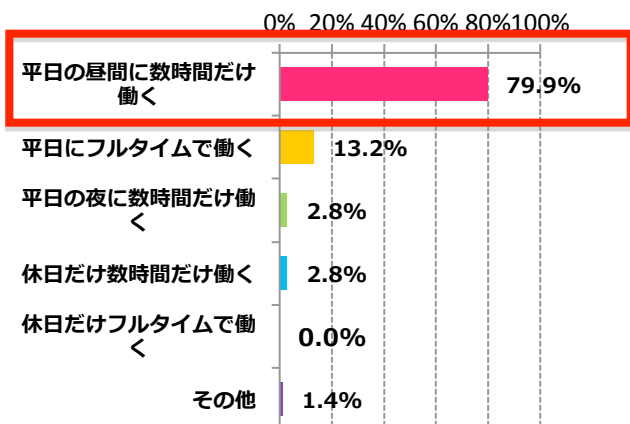
専門職を持つ主婦達(サロネーゼ)のコミュニティになっております。代表 松前博恵

<http://www.jene.jp>

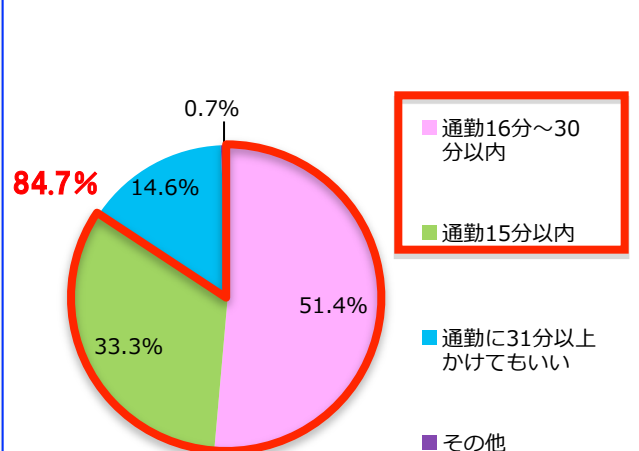
アンケートの結果概要

専業主婦333人のアンケート結果によると、**副業に興味がある人は全体の78.9%**。自宅で働きたい理由の第1位は**家事と両立しやすい(31.4%)**。子供に寂しい思いをさせずに済む(29.4%)でした。一方、仕事をしたくない理由では家族との時間を大事にしたい(26.1%)でした。

Q お仕事をするなら、いつどれくらい働くのが理想ですか？



Q お仕事するなら通勤時間はどこまでかけられますか？



<調査方法>

◎調査時期：2014年7月11日～7月13日 ◎調査対象：全国の専業主婦
◎有効回答数：333人 ◎調査方法：インターネットによる調査

資料(3)

専業主婦333人を対象としたアンケート調査

Q1.あなたは、結婚・出産前にどのような仕事をしていましたか？

→事務・企画・営業関連と答えた主婦は21%、販売・サービス関連は14.4%。

Q2.結婚・出産前にされていたお仕事を辞めたタイミングとその理由をお答えください。

→結婚を機に退職(自己希望)が50.4%、結婚や出産を機に退職(自己希望、夫や家族の希望)は合計で34.4%だが、職場都合での退職の割合は全体の6.7%、と比較的少ない。

Q3.現在、働きたいと思っていますか？

→「すごく働きたい」と「できるなら働きたい」の合計は全体の43.2%となっており、結婚や出産後も働きたい人がほぼ半数いる。

Q4.働きたいと思いながら働いていない理由はなんですか？

→子供の預け先がないことを理由に挙げている主婦が39.6%など、家庭との両立の難しさを感じられる。

Q5.お仕事をするなら、いつどれくらい働くのが理想ですか？

→平日に数時間働く、というスタイルが全体の79.9%を占める。

Q6.お仕事するなら通勤時間はどこまでかけられますか？

→30分以内の通勤時間を希望する人の割合は全体の84.7%となっており、なるべく自宅の近くで働きたいと考える主婦が多い傾向にある。

Q7.お仕事するならどこで働くのが理想ですか？

→自宅やサロンで働くスタイルを希望する主婦はほぼ半数となっている。

Q8.自宅で働きたい理由はなんですか？

→家事との両立と子供との触れ合いを重視した回答は全体の60.4%となっている。

Q9.仕事をしたくない理由はなんですか？

→働くこと自体を望まない主婦は全体の25.2%程度で、家族との時間や家事、体力を理由として挙げている主婦は72.0%となっている。

Q10.あなたは、副業(家事を本業とした際に、家事に影響が出ない範囲で働く働き方)に興味がありますか？

→「やっていないが興味がある」という主婦は全体の78.9%、と多い。

Q11.あなたが、副業を行っている理由(副業を行いたい理由)でもっともあてはまるものをお答えください。

→将来に備えた貯金を理由に挙げた主婦は28.2%だが、お金を稼ぎたい理由は様々。

資料(4)

Q12.あなたの「副業」への興味は、1年前に比べてどのように変化しましたか。

→「高くなった」と答えた主婦は47.1%とほぼ半数を占める。

Q13.もし、あなたが「副業」するならどのようなスタイルでやりたいですか。すでに「副業」を行っている方はその副業を、複数取り組んでいる方はもっとも力を入れている副業についてお答えください。

→「自宅でコツコツ作る」と答えた主婦は67.9%となっている。

Q14.もし、あなたが「副業」するならいくらくらい、稼ぎたいですか。すでに「副業」を行っている方は、月収額をお選びください。

→3～5万円以下が49.8%とほぼ半数を占める。

以上のデータがございます。

詳細データが必要な場合は、こちらからお送り致します。お手数ですが、下記のフォームを入力し、03-3405-2201までご返送ください。

チェック欄	項目	チェック欄	項目
	Q1.あなたは、結婚・出産前にどのような仕事をしていましたか？		Q8.自宅で働きたい理由はなんですか？
	Q2.結婚・出産前にされていたお仕事を辞めたタイミングとその理由で、もっとも当てはまるものをお答えください。		Q9.仕事をしたくない理由はなんですか？
	Q3.現在、働きたいと思っていますか？		Q10.あなたは、副業(家事を本業とした際に、家事に影響が出ない範囲で働く働き方)に興味がありますか。
	Q4.働きたいと思いながら働いていない理由はなんですか？		Q11.あなたが、副業を行っている理由(副業を行いたい理由)で
	Q5.お仕事をするなら、いつでもどこまで働くのが理想ですか？		Q12.あなたの「副業」への興味は、1年前に比べてどのように変化しましたか。
	Q6.お仕事するなら通勤時間はどこまでかけられますか？		Q13.もし、あなたが「副業」するならどのようなスタイルでやりたいですか。すでに「副業」を行っている方はその副業を、複数取り組んでいる方はもっとも力を入れている副業についてお答えください。
	Q7.お仕事するならどこで働くのが理想ですか？		Q14.もし、あなたが「副業」するならいくらくらい、稼ぎたいですか。すでに「副業」を行っている方は、月収額をお選びください。

貴社・部署名	
代表者のご芳名	
代表者のご連絡先	<div>お電話番号</div> <div>メールアドレス(PC)</div>